

2024.04.28. 聖書預言・アップデート

聖書預言はなぜ論争を呼ぶのか？

JD ファラグ牧師

頭を下げ、一緒に祈りましょう。おお、主よ、私たちにあなたを賛美することを教えてくださいませんか？

(会衆：はい！) 私たちに必要なあらゆることで、そうするよう教えてくださいますように。多くの点で、私たちの礼拝は信仰の証です。あなたというお方に、私たちが喜びのために歌えますように。この時間を共に過ごせることに心から感謝します。私たちと一緒にここに来られるすべての人々にオンラインの人たちも、あなたに感謝します。主よ、この学びを祝福していただけますか？ あなたの助けが必要です。特に、「聖書預言・アップデート」に。あなたの助けが必要です。何が起きているのか、目を大きく見開いて理解することができますように。主よ、今朝、私たちに語りかけてくださいますか？ イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。どうぞご着席ください。ありがとうございます。来てくださり大変嬉しいです。オンラインで参加の方も歓迎です。見てくださり大変うれしいです。差し支えなければ、さっそく本題に入りますよ。日曜日の朝は、ご存知2つの礼拝があって、第一礼拝はもちろん「聖書預言・アップデート」、毎週長年してきています。第二礼拝は「説教」、神の御言葉の節ごとの学び、現在「黙示録」を学んでいます。主の御心なら、今日1章を学び終えます。なんとという快挙でしょうか。今日の箇所は、1章の最後の2節、19節と20節だけです。今日見ていくのは、

『神は、なぜ私たちに、未来について無知であるのを望まれないのか』

そうではなく、未来について知ってほしいと思っておられます。それが第二礼拝、ハワイ時間午前11時15分にライブ配信します。ユーチューブやフェイスブックでご覧の方は、今からウェブサイト JDFarag.org へ直接行き、検閲なし、中断なしの、今日の「聖書預言・アップデート」を丸ごと是非ご覧ください。これは「聖書預言・アップデート」というより、「聖書預言の学び」になるでしょう。今から、特にこの、私たちが知っている人類史の最後の時間の、最も重要な問題を取り上げます。すなわち、なぜ聖書預言がこれほど論争を呼ぶのか？ その勢いはさらに加速していて、理由があってその言い方をしますけど、その日が近づくにつれ、日を追うごとにとこの点で、さらに加速しているようです。最近、主は、私の心に強く印象づけておられるのは、この論争に関する問題を聖書から取り上げる緊急性です。このようなことを言うと、単純化しすぎる恐れがあるのはよく分かっていますが、私はこの質問に対する答えとして、悪魔が誰で、どのように行動するかを、聖書の3つの記述を通し、3つのカテゴリーに整理しました。具体的に、

1： 混乱の作者として 2： 兄弟たちの告発者として 3： 偽りの父として。

すべてそこに集約されます。層を剥がし、核心をつけば、私たちは血肉の人間、兄弟姉妹と闘っているわけではないからです。私たちが格闘するのは、これらの主権、暗闇の力、高い所にある邪悪な霊です。使徒パウロは、私たちが格闘する霊界の霊的な存在に、4つの異なるランク付けをしています。(エペソ 6：12参照) それ闘う相手です。そして、よく考えれば、この3つの記述は以下の核心です。なぜ、聖書預言がこれほど論争を巻き起こし、また、言いますよ。陰謀めいて見えるのか。そう言うと気分が良いよ。説明します。悪魔は論争をあおり、おもに聖書預言の領域で誰が正しく、誰が間違っているかと混乱させます。悲しいことに、この混乱は混乱の作者からもたらされ、続いて、仲間のクリスチャンに対する言い掛かりとなり、敵が私たちの敵となる代わりに、クリスチャン仲間が私たちの敵になる理由を説明します。皆さん、分かりましたか？ もう一度言いましょか？ 皆さん、分かりましたね。分かっているのは、敵は、クリスチャンに他のクリスチャンを敵として戦わせることに大成功してきています。そうすれば、彼はもはや敵ではないから。私は愛を持って、できる限り力強く言います。敵が敵です！！ それを言った矢先、今、思い浮かんだ人物ではありません。これでまだ十分悪くないなら、この混乱が告発を助長し、そして欺瞞につながり、そうしてクリスチャンが、偽りによって、仲間のクリスチャンについて嘘をつく。OK。なぜ聖書預言がこれほど論議の的で、陰謀のように見えるのか、この3つがどう説明するのかという疑問について、サタンは、特に聖書預言が決め手であると、知っているからです。決め手というのは、ある人が、御霊が教会に預言的に語ることに聞く耳を持っている場合、その影響は、ゲームチェンジャーだけでなく、人生を永遠に変えます。聖書預言によって、どれだけの人がイエス・キリストにある救いを知るようになりました

か？ サタンはそれを知っています。だからサタンは、人生を一変させる、永遠への預言の真理に目を向けさせず、耳を塞ぐため、あらゆる手を尽くし、手段を選ばないのです。皆さん同意するでしょう。彼は、私がビッグ3と呼ぶものを使うことで、素ン晴らしい大成功を収めています。「混乱」「非難」「偽り」なぜか？

サタンは、特に聖書預言の領域で、この3つのすべてを用いなければなりません。なぜなら聖書は、永遠に火の池でのサタンの永遠の運命を予告しているからです。聞いてください。自分が永遠に火の池に投げ込まれるという内容の本がベストセラーだったらどう思います？その本を二度と読ませないため、あらゆる手を尽くすのでは？ 繰り返しますが、素ン晴らしい成功を収めています。サタンは、クリスチャンを彼に何が待ち受けているかを予告した「黙示録」から遠ざけることに成功したから。待ちきれません。さらに悪いことに、サタンは私たちの誰よりも聖書預言を知っています。彼は、人間に対する邪悪な計画が露見しないように努めていて、そのことが文字通り、あらゆる意味で、彼が本当に人間を呪う極悪非道な陰謀に執念を燃やす理由を説明しています。ご存知ですか？ ディアブロス、ダイアボリカル・極悪非道とは”悪魔”という言葉です。彼は、非常に、とてもとても、強調効果を追加しますが、極悪非道です。このことは、他の聖書真理をめぐる論争が、聖書預言真理をめぐる論争ほど顕著で明確でない理由も説明します。聖書にまつわるあらゆる疑問の中で、論争や陰謀に包まれ、隠されているのが、終わりの日に関する聖書預言だからです。これが、こんにち多くの牧師達が聖書預言に絶対関わりたくない理由です。（3メートルもの長い竿を使っても触りたくない）その言い回しでいいですか？ 古いですけど、そう言わせてね。その理由は、悪魔の狙い、これを注意深く聞いてほしいのです。悪魔の狙いは、人々を、諺通り、聖書預言という風呂の水と一緒に聖書という赤ん坊を捨てるよう仕向けることです。皆さん、分かりましたか？ 聖書の3分の1である聖書預言を捨て去ることができるなら、聖書全体を放棄し得るのでは？これが話の向かう先です。悪魔が人々を混乱させ、非難させ、欺ければ、人々はもはや何を信じればいいのか、さらに重要なのは、誰を信じればいいのかわからなくなります。そしてそれが起きるとき、間違いなく今、起きています。そうして、聖書預言も、それを含む聖書全体も、陰謀論というゴミ箱に捨てられてしまう。それがどれほど陰湿で極悪非道かわかりますか？ これらいくつかの理由のうち、その最たるものは、すべての始まりである混乱の作者による混乱なので、私はそこから始めたいと思います。

1： 混乱

「創世記」です。感謝にも、私たちは、悲しくも、嘆かわしく混乱しているすべての人々の言わば混乱を解くため、神の御言葉と御言葉の神に目を向けられます。聖書の至る所に、この混乱、論争、さらには陰謀に関する箇所が次々と記してあります。以下は、このことを語る数多くの聖句のうちの2つにすぎません。最初のは、使徒パウロで、

2つ目は、使徒ペテロです。パウロの「第一コリント人への手紙14章」から始めましょう。31節から読みます。聖霊によって、パウロが語ります。

—1コリント 14：31—

だれでも学び、だれでも励ましが受けられるように、だれでも一人ずつ預言することができるのです。

聖書預言がとても励みになることを知っていますか？ 使徒パウロが携挙について語っている「第一テサロニケ人への手紙4章」はどうですか？ 私たちが皆、空中で主と会うため引き上げられ、彼は携挙について教える話が終わると、最後にこう語ります。「ですから、この言葉をもって互いに励まし合いなさい。」聖書預言は、励ましです。わくわくです。恐れではありません。あなたがイエスを知らないなら、非常に怖がるべきでしょう。私は、あなたにお世辞を言って地獄に行かせるより、怖がらせてでも天国に行かせたいから。ところで、このことが、多くの人々がイエス・キリストの救いに辿り着いた理由のひとつです。最近聞いた証が大好きです。ある美しい姉妹が仰いました。「これは世の終わりだと理解し始めました。それなら私は大ピンチです。」で、彼女は救われました。効果がありました。効果がありました。それが何であれ。でしょ？ すべての人が励まされるように。どうやって励ますのか？ ええ、これは教会における聖霊の賜物という文脈での話です。それがこんにちの私たちのためです。補足で述べておきますけど、「終焉説」と呼ぶ、偽教理があります。御霊の賜物は、こんにちの教会のためではないという教えです。そして、それは私にとって心が痛みます。あなたには知恵の言葉、知識の言葉、預言の言葉の賜物があります。パウロは、コリント教会

がこれらの賜物を発揮できるよう励ましたいのです。預言の賜物に関してはすべての人が励まされるように、きちんとしましょう。そして、32 節で彼が語ることに耳を傾けてほしいのです。

ーI コリント 14 : 32ー

預言する者たちの霊は預言する者たちに従います。

ーI コリント 14 : 33ー

神は混乱の神ではなく、平和の神なのです。・・・

それからパウロはこう言います。

・・・聖徒たちのすべての教会で行われているように、

ドーン！ 待って。彼らは、教会で預言の賜物を実践して聖書預言を教えているのですか？ かつてはそうでした。以前はそうでした。それを覚えておいてください。あとで戻りますので。「第二ペテロの手紙 1 章」を見ましょう。19 節から、

ーII ペテロ 1 : 19ー

また私たちは、さらに確かな預言のみことばを持っています。夜が明けて、明けの明星があなたがたの心に昇るまでは、暗い所を照らすともしびとして、それに目を留めているとよいのです。

ーII ペテロ 1 : 20ー

ただし、聖書のどんな預言も勝手に解釈するものではないことを、まず心得ておきなさい。

ーII ペテロ 1 : 21ー

預言は、決して人間の意志によってもたらされたものではなく、聖霊に動かされた人たちが神から受けて語ったものです。

この 2 つの箇所は、他の箇所とともに、聖書預言の真理において、私たちの混乱を収める錨となります。言い換えればどんな聖書預言の解釈であれ、混乱と不安定さの両方に満ちたものになる場合、神はその中に間違いなくおられません。神は混乱の作者ではないからです。(会衆：アーメン)

主の御心なら、第二礼拝の学び、『神は私たちに未来を知ってほしいと願っておられる』と題した説教で、このことを説明したいと思っています。ええ、なぜなら、神は私たちが未来を知ることを望んでおられるから。つまり、神は、私たちと天の預言のチェスゲームをするつもりはあられません。「あなたが解読せねばならない秘密のコード、暗号をかけようとしているんだ!!!」ああ、そんなことするんじゃないかった。遅すぎますね。「暗号を読み解くんだ!!!」本当に？これを解読する必要があるの？ またこういうのどうですか？「新しい黙示だ！」いいえ、新しくありません。それはあなたの勝手な解釈でしょ。あなたが思いついたんですか？ みんながあなたの指導に戸惑うのも無理はない。第二礼拝の学びに置いておきます。今言っちゃったので、来てくださいよ。ではこれが、悪魔の

2 : 兄弟たちの告発者として

に繋がります。これは特に、聖書預言がこれほど論議になる、おもな理由のひとつです。ここで興味深いのは、一緒に考えてほしいのです。この悪魔の手口、パウロは語ります。

「悪魔の策略に無知であってはなりません。」(II コリント 2 : 11)

欽定訳の単語、wiles/策略が好きです。それこそ説教ですよ。だから、悪魔の策略～～！と唸るんです。悪魔が使う戦略、戦術。でも、新生した真の信者や真の聖書教師を不当に非難する悪魔のこの特別な手口は、神が常に最終的な言葉を持っておられます。エゼキエル、イザヤ、エレミヤのような昔の預言者たちを見れば一目瞭然です。3人あげるとすれば、いずれも非常に論争が起きました。もし私がこう言ったらどうですか？ エゼキエルの預言は大変な論議を呼び、多くの人が、彼はよく言えば精神的に不安定で、悪く言え

ば完全に狂っていると思っていました。エゼキエルはイザヤのような人たちと同じ仲間で、イザヤは、陰謀論者の一人と見なされました。神がユダへの視覚的な預言として、他にも多々ありますが、彼に裸でエルサレムに行かせました。(イザヤ 20 参照) では、あなたならどう答えますか? あなたがユダの街に行き、歩いていると、この人物がいる。あなたは考える。「あいつは狂っている。」それが預言者イザヤです。これが視覚的な預言と呼びました。来たるべき神の裁きの警告として預言すること。そうすれば、人々の注目を集められます。会話のきっかけから始めよう。必ずしもイザヤとの会話じゃなくても、でも、イザヤについてを。「あの男を見た?」そして、エレミヤも忘れてはなりません。彼は、汚れた下着という非常に奇妙な視覚的預言で、最も物議を醸した預言者の一人なのは間違いありません。まあ、少なくとも何かを身につけていることは確かです。しかし、それは視覚的預言でした。彼は実際にこれをしました。何という冗談なのか想像できますか? エレミヤのジョークが。電球を交換するのにエレミヤが何人必要か。今述べたのは、論争の的になった 3 人です。でも、以下を含めないのは大変失態でしょう。ハバクク、ホセア、エリヤ、モーセ、ヨナなど。これらの人物、そして神に力強く用いられた他の多くの人に共通するのは、彼らは皆、大変な論争の的だったということです。先週もこの話をしたと思いますけど、救い主ご自身でさえ、論争の的でした。「マタイの福音書 12 章」、46 節から 50 節にそうあります。母親と兄弟が心配してイエスを止めようとしたときのことで。彼らは間違いなく、パリサイ人からそうするよう圧力をかけられていました。それは、イエスが大勢の群衆に教えている最中に、彼らがイエスの話を遮り、イエスを説き伏せようとしたことから明らかです。解説者たちによれば、彼らはこれらの報告を受け、その結果、イエスが論争的になるのを阻止するために何かするよう、大きな圧力をかけられた。「みんな私たちのところにやってきて、この論争的になっている教師について尋ねる。」そして、トーンダウンさせ、柔らかくするようイエスを抑えようとしても、効果はなかった。それで、パリサイ人は、もっと思い切った手段に出ました。皆さんその意味をご存知ですね。イエスを黙らせるために。それから、ノア。ノアのことはよく考えます。ロトについても、よく考えます。イエスは、終わりの日は、ノアの日やロトの日のようになると仰いました。(ルカ 17 章参照) だから、私はロトについてよく考えます。でも、ノアについての方がもっと考えます。ノアが大好きで、彼に会うのが待ちきれません。わお~ノアが経験したことなんて、私のユーモアを許してくださいね。ノアの時代の人々がノアをどう見るか、さぞかし見ごたえがあったことを、知ってください。しかし、ノアは義の伝道者だったと言われています。彼は正しい、真実を説いていました。真理を。しかし、彼は濡れ衣を着せられ、完全に正気を失ったとして退けられました。想像してみてください。100 年以上にわたって説教を続けたノアが、どれほどクレイジーで、論争を呼んだか。幾人かは 120 年と考えます。とりあえず議論のために、仮に 100 年として、それは長い期間ですよ。長い年月の説教です。私は 20 年以上です。何年目かは言いたくありませんけど、うわあ。考えていたら疲れてしまいます。でもこの箇所は、神の御言葉の中でも、この深く預言的な聖句に自分自身を置くために、神が与えられた知性と想像力を私達が用いる箇所の一つです。実際、私たちはすべての聖句にそうできます。私は別の方法、逆の方法を言いましょう。ひっくり返してみます。そうしないと、大きな間違いです。その一節に自分自身を重ねてください。そうしないと、私たちは大きな過ちを冒し、神の御言葉の私たちの人生への適応を見逃してしまう危険となるからです。それは聖書のページに書かれた言葉に過ぎず、生きている神の言葉でなくなります。私たちが御言葉に入ると、御言葉が私たちの中に入り、私たちを変えます。そして思いを新たにします。先週話しましたね。先週だったっけ? 皆さん覚えていませんか? 私は覚えていません。洗脳された者は、脳を洗う必要があります。失敗してしまったので、もう一度やらせてください。洗脳された人々が洗脳されないために、神の御言葉の水が必要です。洗脳されるのではなく、神の御言葉の水で脳を洗う。思いを新たにします。ローマ人への手紙 12 章 1 節と 2 節です。神は私たちに素晴らしいマインドを与えてくださいました。それを使いませんか? よろしいですか? 私と一緒にノアの時代まで巻き戻ってくれますか? そこに行ってみたいですか? 他に何を言いましょうか。行きましょう。これをしましょう。分かりました! まずはここから始めましょう。彼は、どれほど信じがたく、まったくもって論争的になったのでしょうか。その話に行きましょ。ノアの時代にタイムスリップする旅に出ることを喜んでくれる人たちには、まず最初に気づくことがあります。ある老人は、彼は宣べ伝えるだけでなく、何かを建設しています。何を創っているのか? 私たちは尋ねると、彼は箱舟を創っていると言う。「へ~箱舟って何?」彼はそれをとても大きなボートのようだと言明する。「ボートって何?」私たちは、ボートはもちろん、箱舟が何なのかも知らない。そこでノアに尋ねる。「ボートって何?」それでノアの返答は? ノアは、「聖書預言・アップデート」を投稿します。やりすぎだったらごめんなさい。そう思っていないけど。彼は、洪水で全世界に神の裁きの下されることを

預言します。私たちは本当に気になるのは、この男が狂っているか、自分たちが死ぬか。もしくはその両方。でも、もうひとつお聞きしてもいいですか？ で、ノアに聞きます。「洪水って？」そう、これまで世は、雨を見たことがないから。「なんで、なんで、なんで？ ボートが何であれ、なぜそれがいるの？ 洪水のためってどういうこと？ 雨が何であれ、私たちは見たこともないけど？」そこで彼は、これから起こることについて彼らに預言を説きました。「だから私はこれを創り、これを説いている。これから起こることがあるから。」これが、ノアについての混乱から、ノアに対する非難（2：告発）へと話が移ります。

「さあ、頼みますよ。理解できないね。彼は陰謀論者の一人だからね。彼は箱舟を建設してるんだって。あのさ～あの老人は放っておこう。とつても幸せそうだし。彼にこれを創らせればいいさ。彼がボートと呼ぼうが箱舟と呼ぼうが、何でも良いけど。放っておけばいいさ。」

問題はただ一つ。彼は黙っていないこと。その代わりに、神が間もなく世に下す裁きについて、不条理で論争的になるような、陰謀めいた預言を説き続けていること。そして彼は止めない。では、私たちはこれからどうすればいいのか？ 私たち、その地点にいますよね。あなたはまだそこにいて、まだ戻ってきていない。私たちオアプに戻らなきゃね。私たちはまだもう少しそこにいますよ。私たちはそこにいて、今、私たちが気づいたのは、この企み、そう、再度ですけど、

「彼は狂っている。彼は預言マニアの一人なんだ。我々は心を落ち着かせ、群衆に従うことで自らを慰めよう。みんな彼のことを狂って大げさだと見ているし。」

それで、彼らは今、こう信じることに安らぎを得ているようです。「そうそう、彼はただ年をとっただけだよ。年を取ったらこうなるの知ってるよね。彼は正気を失っている。放っておけばいい。彼は気が変なんだよ。しかしながら、このままではいけない。そうあるべきでもない。というのも、今、彼は大きな波紋を呼んでいて、人々は彼の預言や説教が真実なのかどうか、真剣に考え、疑問を抱くようになっていくから。」

まあ、それも束の間です。なぜならノアは、言い掛かりによって町の笑い者になってしまったからです。「彼はあの手の人間だね。」ノアは同胞の告発者から、偽教師であると非難されているだけでなく、彼はおそらく、信者を獲得するために扇情的にしたと非難されているでしょう。ええ、私はソーシャルメディアだと言います。それを現代用語的にしているんです。それが彼の狙いなら、彼に拍手を送ります。かなり扇情的だから。「つまり、いいものを選んだね。いや、それは認めるよ。」「雨が降るだろう。今まで雨は見たことないけど、雨が降る。世界は洪水になる。だから、箱舟と呼ぶ巨大な舟を造って救われるんだ。」「はははは！ そんなことないって。」ここでもうひとつ、次に行く前に留意するのは、彼の告発者たちは皆、自惚れ、可哀想にノア、この神の人を傲慢にも見下し、信用を失墜させた。しかし、神は。最終決定権があられます。雨のひとしづくにも。皆さん、この記述を読むことができますよ。今しないでね。私説教中なんで。ゾッとします。私たちは、彼らがどのように箱舟の側面に爪を立て、中に入ろうとしていたのか、かなり生々しい詳細を知れます。でも遅すぎました。扉は閉ざされたから。そして彼らは滅びた。この狂った男が説教し、預言していた通りが起こった。私達が嘲笑し、馬鹿にし、見下し、非難したあの同じ老人です。兄弟たちを告発する悪魔には、もう一つの側面があります。それは、あまりに巧妙なため、頻繁には、または簡単には気づかれないことです。私が言っているのは、いがみ合い、陰口を叩き、攻撃し、意見の違う相手を非難することです。それがどのようで、どのように聞こえるか。「私はあなたに同意できない。」ええ、そこで止まって。“私はあなたに同意できない” は、それが真実でないという意味ではありませんよ。おお、あなたは同意できない。では、それが真実かどうかの判断基準なんですか？ あなたが同意するかしないかが。どうぞ、それで楽しんでください。“私はあなたに同意できない” あなたが同意するかしないかは、関係ありません。それが真実なんだから。「私はもともとそういう考えを持っていない。」じゃあね、あなたみたいになりたくないわ。それがあなたにとってどうなるのか、私は見たくないわ。その厚かましさを考えてみてください。その傲慢さを。まるで自分が最終決定権を握っているかのよう。「これが真実かどうかは私が判断する。私はあなたに同意しない。」そうですか。「実際、私はあなたのフォロー解除しますから。」ばいば～い。いずれにせよ、私に従うべきでもありません。あなたはイエスに従うべきです。それで、どんな風に聞こえるかという、私はあなたに同意しない。だから私はあなたに反対し、攻撃し、批判し、あなたを悪者にし、あなたが間違っていると非難しながら、あなたを追放する。なぜか？ 自分が正しいから。そうですか。ご機嫌よう。どうぞ、お好きなように。あなたは正しいんでしょ？ あるいはあなたが自分が正しいと言うなら、これで決着がついたと思います。それは正しくありません。あらゆるレベルで間違っています。

イエスが来られるという預言よりも、このようなことが優先されると、何が起こるかわかりますか？ それはイエスの救いの福音を解体します。最後まで聞いてください。その結果、いつも起こることが起こるのは、イエス・キリストに関する預言をめぐって、クリスチャンがクリスチャンを非難するという祭壇の上で、イエス・キリストの福音が生け贄となること。これが起こる時、今これが起こっています。イエスを必要とする人々が、クリスチャンたちがイエスについて争っているのを目の当たりにしているとき、同意しないことに賛同するとは、思いもありません。もう 20 年ほど前のことですが、週末を、今は主のもとにいる兄弟と過ごす機会に恵まれました。一緒に過ごしている間、彼は車の中で私にある例えを話してくれました。私はそれを忘れたことは一度もありません。なぜならそれは、クリスチャンが、同意しないことに快く賛同したがることについて、痛烈かつ力強く語っているからです。適切で、愛情を込めてこう参照します。

引用：霊的成熟の最高の証の一つである。

この例えにはいくつかのバリエーションがあって、皆さんたぶん、聞いたことがあるでしょうけど、それを更新し、また要約もしたので、この機会に紹介したいと思います。こうなります。

『ある日、橋を歩いて渡っていたら、端に立って飛び込もうとしている男がいた。私は駆け寄って、「やめろ、やめろ！」と言った。「なぜ飛び込むべきじゃないの？」「生きるために必要なことはたくさんあるよ。」「何があるっていうの？」「あなたはイエスを知ってる？」彼は言った。「知ってるよ。」「そうなんだね！あなたは新生したんだね？」彼は言った。「そうだよ。」私は言った。「私もです。あなたは教派ですか、それとも無教派ですか？」話の向かう先がわかりますか？彼は言った。「私は無教派です。」「すごい！私もですよ。」「あなたは患難前派ですか？中期派ですか？」彼は言った。「私は患難前派です。」だから私は彼を橋から突き落とした。』

確かにこれはユーモアですが、極めて深刻な問題でもあります。ソーシャルメディア上で、毎日、1日に何千回も、何らかの形で展開されているという事実からも。謙虚に質問を投げかけてもいいですか？自分自身にも問います。仲間のクリスチャンを傷つけ、攻撃し、非難することが、絶望的で切実にイエスを必要とし、私達を見つめている滅びゆく世の前で、イエスの証をどれだけ台無しにするか、お分かりですか？こう述べて、尋ねた方がいいのは、キリストにある兄弟姉妹といがみ合って、どうやって誰かをキリストに導くことができると思うのですか？使徒パウロは、私たちは生きた書簡だと語ります。(II コリント 3: 2)

その意味がわかりますか？私たちは生きた手紙、世は、私たちのクリスチャン生活の手紙を読んでいます。彼らはあなたの人生で何を读んでいるのか？彼らはあなたのページで何を读んでいるのか？彼らはあなたの投稿の何を读んでいるのか？新しいのを思いつきました。これを考えました。主よ、ありがとうございます。誰かがTシャツを作るかもしれないから、注意する必要があります。ちなみに、たくさんのTシャツがあります。本当にありがとうございます。帽子や、カップも。イエスならどうされるのか、じゃなく、イエスならどう投稿されますか？おお、うまく行ったかも。イエスは、何を投稿されるのか？私は最悪の事態を最後まで取っておきました。それが私の優しさだと思わない？しかし、私たちが話さなければならぬのは、欺瞞が聖書預言が論争的となるおもな理由(←強調)の一つだから。そう、悪魔は混乱の作者です。そう、悪魔は兄弟の告発者ですが、限りなくもっと悪いのは、悪魔が偽りの父であることです。考えてみてください。彼はある本の著者です。悪魔が書いた本のタイトルは「混乱」。私は、その本は読みません。非常に混乱します。悪魔は、子供たちももうけました。彼らの名前を知っていますか？(複数の)「嘘」また、彼は兄弟たちを告発する者です。言い換えれば、キリストにある兄弟姉妹が虚偽の告発を受けているなら、私は、聖なる神の御言葉の権威に基づいて断言します。それは悪魔です。悪魔が、その中にいて、背後にいて、それをしています。偽りの父だから。私は、イエスのその強さが大好きです。先週話しましたね。また自分(の記憶)を疑い始めそうですけど、あの強さ、救い主の口から出た最も厳しい言葉は、宗教指導者に対するものでした。これもまた、あなたがしたいことかも。特に、自分が本当に正しいと感じているときに。福音書を見てください。つまり、イエスはためらわれません。「あなたがたはまむしの子孫、読む時は、こんな風に唸ってください。「おまえたちは白く塗った墓だ。悪魔の父から来ている。偽りの父から。」聞いてください。私はペテロを考えます。ペテロがイエスを連れて行く姿が目には浮かびます。

「イエス様、聞いてください。これはフォロワーを増やす方法にはなりません。」では、

3： 悪魔は偽りの父 について話します。なぜか？ なぜなら、人が嘘を信じる時は、すでに混乱と非難が積み重なった結果です。お許しくださるなら、今日の残りの時間を使って、この最後の1つについて説明したいと思います。でもそのため、先に進むので、ユーチューブとフェイスブックでのライブ配信をここで終了します。

一本編一

先週もそうでしたが、私たちがこの問題を何度も取り上げてきたのは痛感しています。私は、もう一度そして今回は、聖書預言の、欺瞞と分裂に特化してこの問題に取り組む義務があると思います。欺瞞と分裂と私が言う意味は、コロナといわゆるワクチンに惑わされ、分裂しているキリストにある尊い兄弟姉妹のことです。率直に言わせてもらえば、今までそうならなかったことがありますかと言われるでしょうけど、これだけを取っても、偽りの父の手の中、悪魔自身が、今までも、現在も、今後も、聖書預言の中で最も論争を呼ぶ陰謀的な側面であることです。例外なしに。私は怒っていません。例をあげます。(会衆：お願いします。) ありがとう、チャーリー。愛してるぜ。(チャーリー：私もです。) 聖書預言が論争的となる理由の3つの柱からのテンプレートを、このいわゆるコロナワクチンに当てはめてみます。いいですか？ 準備はいいですか？ あまり説得力がなかったけど、とにかくします。まずは最初の1つ「混乱」から、反対を表明した数少ないクリスチャン指導者たち。(JD 挙手) 一拍手 OK。主を褒め称えます。主ですよ。そのような反応は予想外ですが、ありがとう。もう一度やり直します。皆さんが台無しにしたから。一 (笑) 一

あなたたちはとても親切です。天に宝を積んでいます。知っておいてください。天に行ったら、「あなたはカルバリー・カネオへに行っていましたか？」「ええ、そうです。」「わお～入りなさい、兄弟よ。」一 (笑) 一

でしょ？ そうです。「ほ～～！！」「あなたにはVIP用の特別な予約を取ってあります。あなたが憧れたものです。」聖書的じゃないので、どうか、、メールしないでください。お願いします。OK。進行中の預言の学びに戻りましょう。それを私にさせないで。気が散ることへ手助けは要りません。OK、ですから、

1： 混乱 反対を表明した数少ないクリスチャン指導者たちに対して。そして、多くの有名なキリスト教指導者たちがそれを接種した。では、尋ねます。どれほど混乱しますか？ 何て？ 待って。違う。何？
●◆▲×●◆▲× わからないけど、言葉が出ません。それ自体が奇跡ですよ。つまり、この混乱に付け加えると、以前は、彼らの多くは、私を含め、悲しいことに、2020年までは同意して共に歩んでいました。その時、すべてが変わりました。二度と同じにはなりません。これで十分悪くなかったら、ノアの日の、ノアのように、それだけではありません。まだ論争を巻き起こしている教師たちがいるからです。(JD 挙手) 人々は、突拍子もないように見えるこの話が本当なのかどうか考えています。陰謀めいて見えるこの話が。マイクに近づいて言わなきゃね。それは論争を呼ぶかもしれないと。理由は、両方正しいはずがありません。だから今、私は本当に混乱します。なぜなら、“このこと”までは、強調するつもりはなかったけど、これが、“このこと。”地獄の穴から生じています。これはおそらく、気をつけたほうがいいね。いろんな人からこう質問されるから。「私は接種しました。救いを失ったのでしょうか？ 私は獣の印を受けたのでしょうか？」全くもって違います！！ 救われているなら、救われていないになり得ません。あなたが新生しているなら、新生していないになり得ません。また獣の印じゃありません。獣がないのだから。私たちは患難時代にいるのじゃありません。何人かの意見とは正反対ですが。これ(獣のしるし)は、7年間の患難時代に起こります。今ではありません。携挙が先に起こります。ですから、元気を出してください。敵に、あなたに嘘をつかせないで下さい。実際、主の御心なら、木曜日の夜を選んで、この件について話し合いたいと思っています。非常に具体的に、これを注射した人たちがどうなるかを。それがどうなるか。ええ、それについて話します。私たちが、まだここにいるなら。OK。ですから、今、私たちが混乱している理由は、あなたがこう言うから。「いや、これは安全で効果があります。」(にんまり) そんな感じですよ。で、こっちにいる人物が言う。「違う！！ それは嘘。あなたは死んでしまう。」私はそんな感じではなかったけど、それに近かった。あえて言えば、これは事実上それだけでも、キリストの体内の分裂と欺瞞が、この時期、人類史上かつて見たことがなく、今後も見ることはないものである理由を物語っています。そして、ここからが問題で、それは混乱から始まり、虚偽の告発が強い欺瞞を生み、それがすべての分裂を引き起こしました。あなたにはどう聞こえますか？ 分裂と征服を企む悪魔の邪悪で極悪な計画の典型的事例に聞こえませ

んか？ イエスが私たちに警告し、預言されたことでは？ もし家が内部で分裂したら、その家は立ち行きません。(マルコ 3:25)

サタンはそれを知っていると思いませんか？ 彼はあなたよりもその聖書の一節を知っています。彼はそれがどこにあるか知っています。私にはわかりません。その章と節、正確な箇所は。あなたをご存知なら、寛大に教えてください。とにかく、ポイントは何か？ 家が内部で分裂したら、その家は立ち行かない。団結すれば立つ、分裂すれば倒れる、と言われます。しかし、キリストの体という文脈で考えてみてください。サタンは外から、教会に勝てません。だから内部の犯行にせねばなりません。内側からやるしかない。でも、バラクはバラムに、イスラエル人に呪いをかけるため大金を払っていましたが、呪いをかけることができなかつたように、最終的にどうやってやり遂げたか。大金を受け取ったか。そう彼は、内部からしました。モアブ人やメディアン人の女たちに魅惑的な格好をさせ、イスラエル人の男たちを誘惑させました。一旦、性的不道徳を犯すと、偽りの神々を持ち込み、自分たちの内側からそれを招く。地獄の門は教会に勝つことはできません。(マタイ 16:18参照)

外側からは。だからサタンは、自分が内側からするしかないことを知っています。だからパウロは3年間、昼も夜も泣いたのです。自分が去った後、自分たちの中から羊の皮をかぶった狼のような者たちが現れ、群れを惜しまず、弟子たちを自分たちのもとに引き寄せようとするのを知っていたから。それが教会を分裂させる。それが最終目的です。それが敵にとってのゴールポストです。分裂と征服。それが敵の方法です。それが敵の今していることです。そしてもう一度言います。彼は素ン晴らしい大成功を収めています。わざとそう言うておきます。「黙示録2章と3章」を学ぶときに、その時必ず読むことになる教会、健全に立っているのは、強い教会ではありません。糸一本で、辛うじて持ちこたえている教会です。戦いに疲れた教会です。フィラデルフィアの教会。

「あなたは忍耐についてのわたしのことばを守ったので、地上に住む者たちを試みるために全世界に来ようとしている試練の時には、わたしもあなたを守る。」(黙示録 3:10)

それが7年間の患難時代です。それが患難時代前教会携挙です。それが。イエスはこうも仰います。これは「黙示録3章」のフィラデルフィアの教会とは、7つの教会のうちの6番目の教会です。皆さん、見ておいてください。今じゃなくて。まだ終わっていませんから。あなたには少しばかりの力しかないのを知っています。(黙示録 3:8参照) 訳すと、あなたが辛うじて踏ん張っているのは分かっています。でも、あなたは忍耐強く耐えています。頑張るのです。もうそんなかからない。わたしは来る。わたしは来る。あなたが何とかしがみついているのは分かっています。あなたは爪でぶら下がるのはとうに過ぎて、小指だけでつかまわっていて、爪が割れ始めています。他の指の爪は割れてしまったから。「神よ〜〜！！」わたしは分かっています。わたしは知っています。わたしは来る。文字通り、引っかかり、ぶら下がってます。小指だけで持ち堪えなさい。なぜその教会はそんな状態なのか？ これのせいです。キリストの体が分裂してしまったから。欺瞞によって。全ての始まりの混乱によって生じた告発によって。必要なら、もう1つの論争を追加して締めくくりましょう。もう1つ欲しいですか？ もう1つありますよ。イエス・キリストの福音はそれ自体、論争的のです。そんな風に考えたことはありますか？ いや、考えてみてください。それって、陰謀的でさえあります。お付き合いください。聞いてくださいね。良い知らせ・イエス・キリストの福音とは、イエスが地上に来られ、十字架につけられ、死なれ、葬られ、三日目によみがえられ、まもなく、もうまもなくある日戻ってこられること。旧約聖書には、イエス・キリストの初臨に関する預言が300以上もあるのを知っていますか？ あの預言がどれほど突飛だったか知っていますか？ キリストの初臨に関する300以上の預言のうち、たった8つだけでも成就するには、その確率はあり得ません。想像してみてください。ベツレヘム前。あなたは散歩して、歩き回って、ただその日を楽しんでいる。太陽に、ビーチに。男が歩いてきて言う。「イエスが来られる。」「誰？」「世の救い主イエスです。彼は処女から生まれるのです。」

「はははは。分かりました。いやいや、分かった。分かったから。OK。大丈夫ですよ。大丈夫。」あなたはすでに彼を退けたでしょう。さらにとんでもない他のものにはまだ手をつけていない。イエスは特定の時間に、特定の場所で処女のもとに生まれなければならない。そして、救い主となるために、これらの前提条件と預言をすべて満たさなければならない。でもイエスは来られる。なんて陰謀的なのか。それがどれほど論争的なのか。「すべての人は生まれながらの罪びとで、神が処女から生まれ、私のような人間となられ、この地上で私の代わりに死んでくださった

救い主を必要としている。そうすれば、私は天国でイエスと永遠に暮らすことができる。」「ははははは。へへ待って。神が人となり、処女から生まれた？ あなたが何を飲んだり、食べたりしているか知らないけど、それは馬鹿げた話だ。」福音は論争の的で、陰謀的ですからあります。でもそれが真実です。どうです？

私のポイントは、預言の論争的となる性質、陰謀的ともいえる性質、または神の御言葉における預言の解釈は、それが真実かどうかを測る尺度にはなりません。神がそう仰ったら、それで決まりです。それが真理です。ネブカドネツアルの夢を解釈する「ダニエル 2 章」が好きです。2 章だったはず。また自分を疑っています。ダニエルが言います。

「これがあなたの夢の解釈です。その夢は正夢で、その意味も確かです。」(ダニエル 2 : 4 5)

は！！ うわ〜お〜これでマイクロロップ (完了)。言い換えれば、神がそう仰ったら、あなたはそれを確信できます。つまり、神は人となり、処女から生まれ、人類の罪のために死ぬと仰いました。で、どうです？

それが起こりました。では早送りします。「わたしは戻ってきます。もうまもなく。」これが狂って聞こえるのは分かっています。でも、たちまち一瞬のうちに、ラッパの音、神のラッパの響きとともに、まず、キリストにある死者がよみがえり、肉体の復活をし、それから生き残っている私たちが引き上げられ、私たちは新しい体になって、たちまち変えられ、**(第一コリント 15 章 51 節 5 2 節)**

それだけでも、私たちは走行距離の長いこの肉体を脱ぎ捨てます。私はこの肉体を脱ぎ捨て、新しい永遠の体を与えられます。イエスよ、ありがとうございます。それだけでも。一拍手喝采ー それはとても狂っています。前の聖書預言・アップデートを思い出したので、ちょっと持ち出しますが、聖書預言があまりにも信じがたい時、実際、とても信じがたい時、それが真実なのです。思ったよりうまく伝わらなかったけど、でも、ちょっと聞いてもいいですか？ 最後に、救いの簡単な説明の「救いの ABC」を説明しますので、イエス・キリストの救いという福音が論争を呼ぶ性質があるのに留意ください。今日は少し違うことをしたいのです。よし。

A : 自分は罪びとだと **Admit/認める**。あなたは罪びとだから、救い主が必要。「いやいや、私たちは抗議する。私は良い人間です。」あなたは良い人かもしれませんが、(神の御目からは) 十分良くはありません。

ローマ人への手紙 3 章 10 節、

「義人 (正しい者) はいない。一人もない。」

救える義人はたった一人イエスだけ。あなたは十分良くはありません。「ローマ人への手紙 3 章 23 節」がその理由、これは私にとって非常に不快です。知っておいてほしいのは、大きな論争的であることです。

「ローマ人への手紙 3 章 23 節」が語る、「すべての人 (私たち誰しも) は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」まだ始まっていません。なぜなら、ローマ人への手紙 6 章 23 節がまだあるのだから。これって、ほんとうに悪い知らせです。悪い知らせが悪ければ悪いほど、良い知らせがさらに良くなります。悪い知らせとは？ ええ、悪い知らせは、あなたは死刑を宣告されていて、永遠の地獄行きです。ええ、非常に悪い知らせです。

「罪の報酬は死です。」(ローマ 6 : 23 a)

良い知らせを聞く準備はできていますか？ お願いします。

「しかし、神の賜物 (贈り物) は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」(ローマ 6 : 23 b)

ここで止めます。「私が永遠に生きられると言うの？」そうです。「頼むわ〜そんなん異常ですよ。」いいえ。神が仰ったから、決まりです。分かりました。次に B、大変中心です。

B : あなたの心で、イエス・キリストが主であると **Believe/信じる**。

ローマ人への手紙 10 章 9 節、

「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

「待って、私は神を信じていますよ。」そういうことではありません。悪霊どもも信じて、身震いしています。(ヤコブ 2 : 19)

つまり、これが語るのは、心の中で信じること、イエス・キリストという人に信頼を置くということです。誰かが死ななければならなかったから、あなたの代わりに死んでくださった。あなたが死刑を宣告されているから。狂気の沙汰のように聞こえるかもしれませんが、イエスはあなたの代わりに死に、その血を流して葬られました。そして、これ。狂気の沙汰を話したいですか？イエスは、3日目によみがえられた。「いやいや、大袈裟な話だって。あり得ないよ。」あり得ます！！イエス・キリストの復活を証明するものは、大げさな表現ではなく、文字通り、カエサルが生きていたことよりもさらにもっとたくさんあります。もう一度言わせてください。イエス・キリストが死からよみがえったことは、カエサルが歴史的に生きていたことよりも多くの証拠があります。それは次に取っておきます。いや、私たちここにいないだろうから、そう考えないことにします。私は日にち設定してませんよ。メールしないでくださいよ。ああ、なんということ。ちょっと言ってもいいですか？言いますけどね。日にちを決めることと、その日にワクワクすることは違います。ラッパが鳴るその日、あなたは、その日の興奮を私から奪うことは決してできません。私はそれを見張っていて、ワクワクしていて、非常に準備できているから。もう昨日、準備できていたようにね。実際、去年から、数年前からね。最後のひとつ。もう締めくくります。ご忍耐感謝します。最後にC、

C : 主の御名を Call/呼び求める、

「ローマ人への手紙 10 章 9 節」を再度、

あなたの口でイエスを主と告白し、・・・

C : Confess/告白する。イエスは仰いました。

「心に満ちていることを口が話すのです。」(マタイ 12 : 34)

では、イエスが主と信じ、神がイエスを死者の中からよみがえらせたと心の中で信じるなら、私の口から、何が出てくるのか？心に満ちていることを口が話すのだから、イエス〜！！！！私は恥ずかしがりませんよ。私たちが救われるために、人間に与えられた唯一の名です。(使徒 4 : 12 参照) その名前を口にすると、悪魔は震え、空気が止まるのにお気づきですか？「いや、会話じゃないの。」あ〜そうそう、さっと言います。ちょっと言わせてくださいね。これでもう言いませんから。そう思わないけど。誰かと会話しているときに、彼らがあなたや私のイエスの名をむげにする。おお、聖霊があなたの中でうごめいている。昔の話ですけど、ご想像通り、昔はもっと過激でした。でも、信じられないかもしれないけど、私はこの何年かでより寛大になりました。誰かがこうする時、彼らがこうする時、何を言うかご存知でしょ。それで、あなたがクリスチャンだと分かると、または、これはどう？「あなたは牧師ですか？私のフランス語をお許しください。」いいか、今のはフランス語じゃないよ。突然、すべてが変わります。なぜか？なぜなら、あなたは今、あらゆる名に勝る名を会話に持ち込んだから。救世主のお名前を。たぶん、これが適切な機会だと思います。再度、手短に。ご忍耐感謝します。私の出生時の名前は、ワヒード・ファエズ・ファラグでした。どうです？私の両親はそんなに残酷じゃありませんでした。私は中東で生まれ、私のファーストネームは、ワヒード。アラビア語で No. 1 です。どうもありがとう。1 から 5 までの数字は：ワヒド、イトナネ、タラタ、アルバア、カムサだから私の名前は文字通りです。本当に。待って、待って、待って、待って。私を困らせないでね。唯一の名。アラビア語の聖書を読むと、アル・ワヒードがイエス。神のひとり子。さらにいいでしょ。それいただきます。では、ちょっと待って。話を戻しましょう。稲妻が私を襲う前に。そう、あなたが口で話す。イエスのお名前を誰かに、イエスの名を冒涇するような言い方をした人に、あなたはどうしますか？私はこう言います。「質問があります。ちょっと聞きたいことがあります。なぜ、あなたは平等に冒涇しないのですか？」すると彼らは、あなたを変な目で見ます。それでこう言うのです。「ムハンマドの名前をむげにした人は聞いたことがありません。または、ブッダを。」誰かが最近こう言いました？「おお、ブッダ！！」でしょ？そうなりません。「おお、ムハンマド！！」まあ、そんなことをすれば、地域によっては首をはねられるでしょうけど。預言者ムハンマドを侮辱するとね。ムハンマドは偽預言者、イスラム教は偽の宗教、アッラーは偽の神です。あなたが、私たちが救われるために人間に与えられた

唯一の名前を、その名を告白すると、おお、ちなみに、すべての膝がかがめられ、すべての舌が告白する日が来ます。(ピリピ 2:10~11 参照)

でも今は、救いのため、その時は永遠の天罰のためです。それほどパワフルです。最後に、ローマ人への手紙10章13節、決定打です。

「あなたからちょっと刺激を受けたよ。私はまだ、あなたが私を罪びとだと言い、救い主が必要だと言ったという事実に対処しているところです。神の化身の救い主が、処女から生まれる。私はまだそのことを理解しようとしているんだ。そして今度は、救われるためにこの人の名前を呼べと言うの？ そんなの狂ってる。」**「ローマ人への手紙 10 章 13 節」**は狂っています。

『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』

そんなバカな。いや、真実です。留意ください。呼び求める人の大半とか、呼び求める人の何人かとは、書かれていません。いいえ、呼び求めるものは皆です。また、こうも書かれていません。主の御名を呼び求める者は皆、救われる可能性はかなり高い。たぶん、でも陪審員はもう出だし、判決を待つだけ。きっと、たぶん、救われるよ。救われるべきだからね。いいえ！『救われる』のです！！ 狂っていますが、それが真実です。OK。では、終わり。あと2分いい？ 良かった。またしても、皆さん何とも言えませんよね。先週に引き続き、今週の「しかし、神は」の証の代わりに、もうひとつ発表しなければならないことがあります。おお、明日から5月末まで、説教壇を離れることをお知らせしなければなりません。その理由は、どうか最後まで聞いてください。5月は、多くの方がご存知のように、乳がんと戦っている妻の誕生日を祝います。「しかし、神は。」神だけがお出来になる通り、大きな腫瘍を縮小させてくださり、その攻撃的な広がりやを止めてくださっています。私たちは神にすべてのご栄光を捧げ、心から感謝しています。ありがとうございます。一拍手 私たちは心から感謝しています。あなたには分からないでしょう。ずっと祈ってくださって、祈り続けている全ての人に。娘のノエルの追悼式も行う予定です。ノエルは、妻の誕生日の2日前の5月4日にイエスの下へ行きました。それが、今年の母の日、5月12日の8日前です。そして、その6日後は、次男の大学卒業を祝います。そしてその直後、娘が1年早く3年生として高校を卒業します。それから、長男の誕生日のお祝いをします。それから、この全部に追加して、5月26日(日)、メモリアルデーの週末にワイマナロで、親愛なる友人、キリストにある兄弟、ディビッド・アンダーソンのいのちの祝いを司式する予定です。これらは、私が家族と一緒に過ごしたいと心から思っている多くのことのほんの一部ですが、そのすべてが5月にあります。私の不在中は、レイトゥ牧師とマック牧師の有能で愛情深い手に委ねられていることをご理解ください。それから、主の御心なら、私たちがまだここにいるなら、私は、6月4日(火)の祈り会から説教壇に戻ります。それを心から楽しみにしています。疲れ果ててしまいそうだから。私は戻ってくる必要があるからです。それだけです。でも、戻ってくるのをとても楽しみにしています。そのための準備は万端です。これにはいくつかの理由があって、その中でも特に重要なのは、皆さんにこれを知ってほしいです。本当のことだから。私は皆さんをとっても愛しています。皆さんに会えなくて、とても寂しく思います。皆さんの牧師であることが大変光栄です。地元にも、国際的にも。本当にありがとうございます。追悼のように聞こえなくなかったのに、そうなっちゃってごめんね。カポノ、あがってきて、私の窮地を救って、可哀想なこの貴重な人々を助けてください。一拍手喝采

ご起立ください。締めくくりましょう。ようやくね。改めて、皆さんのお優しさをご理解に感謝します。教会はいつだって別の牧師を見つけられますが、家族は別の私を見つけられないので。

お父様、ありがとうございます。おお、わお。これは今日、ちょっと大きなことです。でもあなたは大きな神です。主よ、私たちは今、あなたの聖霊にお願いしたいのです。私たちの内に既に住まわれているだけでなく、私たちが今日ここで見たことをすべて吸収し、適応するプロセスを始められるよう、可能にしてください。おそらく、ある人にとっては内観や再吟味の時間で、私たちの心の奥底にある深い部分に、あなたに自由にアクセスしてもらい、あなたの御声を聞くこと、あなたを知ること、あなたを愛することから、私たちを遠ざけるものが少しでもないかを確かめるために。主よ、このあなたの教会をそういうことからお守りください。今日私たちが学んだことから。最後に主よ、あなたに信頼を置いたことがなく、あなたを信じたことがない人たちに、今日が彼らの救いの日になりますように。ここで、今すぐに。この教会でも、オンラインで見えていても、永遠の命のための、人生で最も重要な決断を誰一人遅らせることがありませんように。

おお、どうかイエスよ、お願いします。そして、イエスよ、早く来てください。マラナタ。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリー・カネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7